

JATA16-13

2016年6月9日

日本旅行業協会会長 田川博己 九州観光復興支援に関する決意表明

旅で応援



一般社団法人日本旅行業協会（本部：東京都千代田区）会長：田川博己 は、本日開催される、公益社団法人「日本観光振興協会」平成28年度（第53回）情報交換会にて、旅行会社、航空会社、鉄道会社、宿泊業、日本政府観光局など、九州観光復興支援に関わる各業界を代表して、九州観光復興キャンペーンのキックオフにあたり決意表明をいたしました。

詳細は、別紙をご覧ください。

このスピーチは、2016年6月9日18:30前に行われる予定です。
報道は、18:30以降にお願いします。

問い合わせ先 (一社)日本旅行業協会 広報室 担当：矢嶋、新田、永由 TEL: 03-3592-1244

日本旅行業協会会長 田川博己 九州観光復興支援に関する決意表明

●日時：2016年6月9日

●公益社団法人「日本観光振興協会」平成28年度（第53回）情報交換会において

日本旅行業協会会長の田川でございます。

旅行会社、航空会社、鉄道会社、宿泊業、日本政府観光局など、九州観光復興支援に関わる各業界を代表して、九州観光復興キャンペーンのキックオフにあたり決意表明させていただきます。

九州の宿泊需要は通常は50%が九州域内から、50%が九州域外からの需要となっております。今回は熊本など地元が被害を受けておりますので、約70%は九州域外からお客様に来て頂く必要があると考えています。

また、地元の旅行会社にも活躍して頂き、九州域内からの旅行や着地型旅行も盛り上げていきます。

そのため、わたくしたちは、ご覧のように、日本観光振興協会、JATA（日本旅行業協会）、ANTA（全国旅行業協会）共同で「旅で応援、行こうよ九州」のロゴをつくり、全国から九州へお客様をおくるべく共同キャンペーンをスタートさせます。

1. 熊本県にあっても、熊本市内や北部などを除き、周辺部や温泉部は被害がないあるいは軽微であっても、宿泊者がほとんどおられない状況となっております。大分県の湯布院なども同じ状況にあります。道路状況も含めた正確な情報を発信して、まず夏休みをきっかけに観光需要の早期回復を図り、秋の行楽シーズンにもつなげていきます。
2. また、大分、長崎、宮崎、鹿児島、佐賀、福岡など他の県は一種「風評被害」に悩まされております。夏休みの旅行を大いに宣伝してまいります。また、修学旅行など団体についても、延期してでも実施していただくよう働きかけ続けます。夏休みの九州旅行は、パンフレットコーナーに、並べておるように発売中です。
3. インバウンドにつきましても、海外での説明会の実施、旅行関係者の九州への招請、共同広告の実施など、業界とJNTO（日本政府観光局）が連携し、正確な情報発信、効果的なプロモーションを展開してまいります

実施にあたり、国から一早く180億円のご支援を決めて頂いたことを深く感謝いたします。国内外から九州への観光需要喚起に最大限活用させていただき、観光による復興を成し遂げます。

以上、九州観光復興への決意表明とさせていただきます。

このスピーチは、2016年6月9日18:30前に行われる予定です。
報道は、18:30以降にお願いします。